

環境と福祉がつなぐリサイクルの環

新庄方式

～ 循環型社会の実現を目指して～



株式会社 ヨコタ東北

YOKOTA TOHOKU YOKOTA RECYCLE AMENITY CENTER

企業理念

1. リサイクル文化、創造、確立への貢献
2. 自然を守る企業としての提案、行動
3. 地域、社会、仕事を通じて知り合った人々と、夢を語る企業文化の実現

業務内容

プラスチック製食品容器の製造販売

生産量: シート製造最大能力

150t/日

パック生産最大能力

1400万枚/日

当社は、豆腐のプラスチック製容器を主力とし、積極的に新製品の開発や技術革新を行い事業展開をしてきました。平成12年度から施行された「容器包装リサイクル法」に対応するため平成8年から、21世紀の循環型社会への貢献を目指し開発を進め、ゴミの減量とリサイクルという2つの目的を達成する機能を持つ、はがせる容器「P&Pリサイクルシステム」を完成させました。

原料から製品化、使用したら捨てる“ワンウェイ”(一方通行)が従来からのシステムだけに、企業レベルでは何ができるか、そして、限りある資源を大切に、これから生まれてくる子ども達のために何ができるのかを問い、自然環境を皆様と共に考え、コミュニケーションのできる場として、「ヨコタ東北アメニティセンター」の創設にふみきりました。容器リサイクルを通して環境という土台の中で、“循環型社会の創造・啓蒙”が大きなテーマであります。

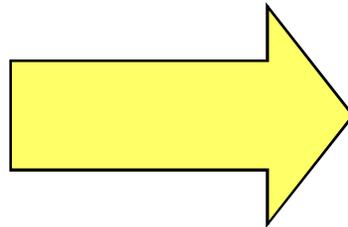
循環型社会の実現と地球環境の保全を目指し取り組んでいこうと思います。

P&Pリサイクル弁当容器

< かんたん・きれいに・リサイクル >



角のつまみを上に折ります。



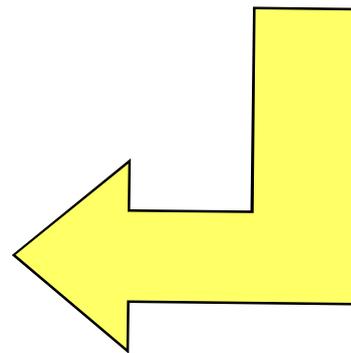
フィルムをゆっくりはがします。



本体はリサイクルBOXへ



フィルムとフタはゴミ箱へ

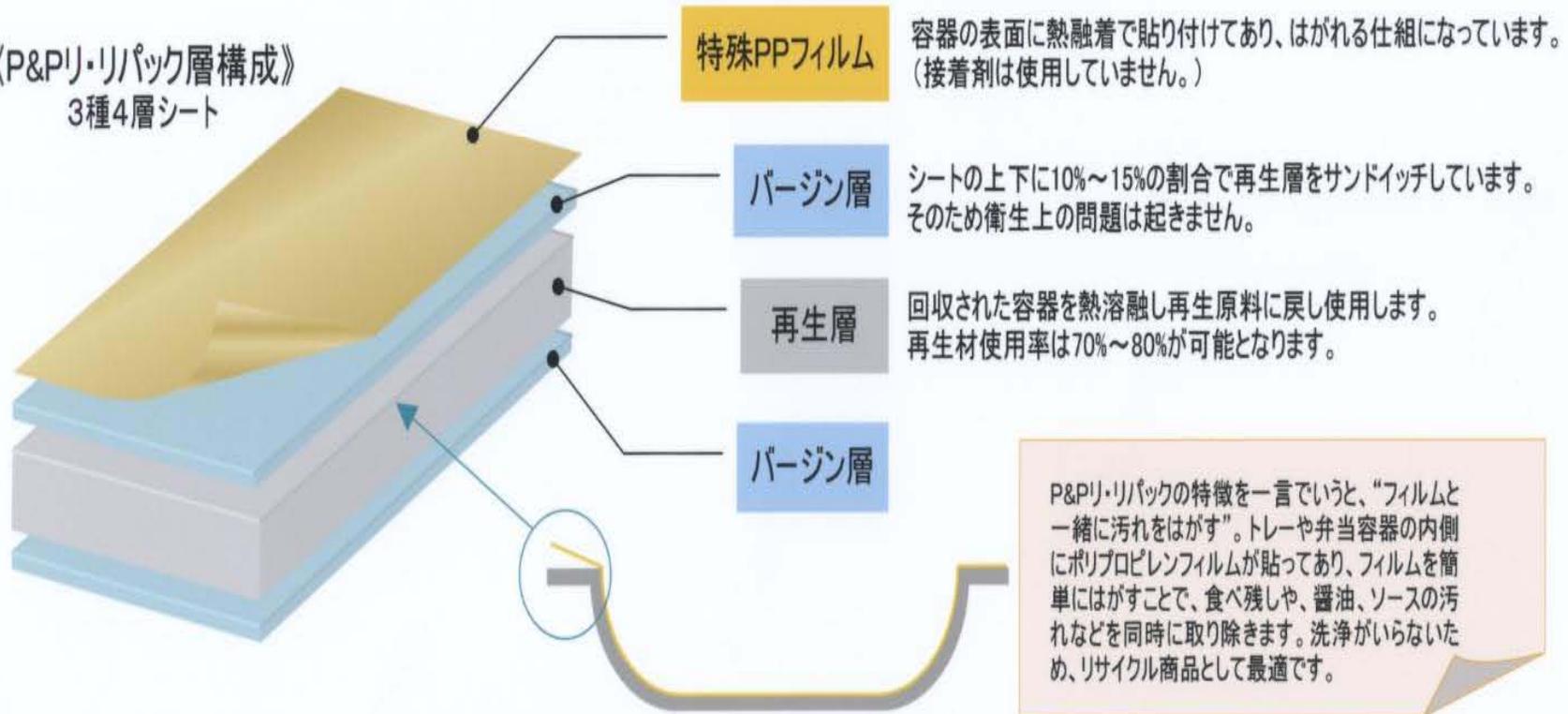




■リサイクル社会を先導する新トレー開発■

リサイクルに最適な食品トレー、はがして資源の“P&Pリ・リパック”を開発した当社では、地球環境保全、資源問題を消費者に認識してもらおうと、啓蒙活動商品としてリサイクル容器の技術開発を進めております。

《P&Pリ・リパック層構成》
3種4層シート



山形・新庄方式リサイクルシステム

「新庄方式」の特徴

1 地域総参加

市民・スーパーマーケット・トレーメーカー・福祉施設が、行政の支援を受けて運用しているため、地域ぐるみの参加といえます。

2 多種類の容器を回収

回収できる種類が多いことで、ごみの減量効果が高いといえます。（ただし、ペット・塩化ビニールは除く）

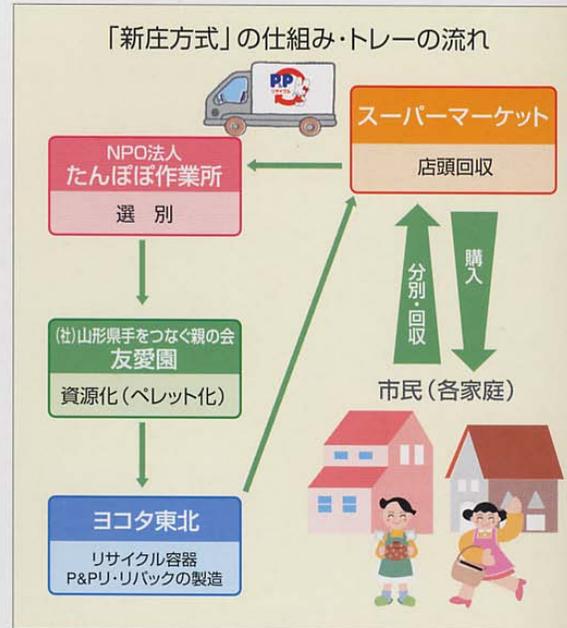
3 民間での運用

社会福祉法人とNPO法人、民間企業の三者でつくる「P&Pトレーリサイクル研究会」での運用のため税金の投入がありません。

4 福祉施設の参加

機能訓練の一環として、軽作業に携わることで将来的に、一般労働への移行促進や継続的な雇用の実現といった“自立”を目指しています。

「新庄方式」の仕組み・トレーの流れ



福祉施設でいきいきと作業する通所者の皆さん



トレー回収・分別作業にあたる「たんぼぼ作業所」の皆さん



ペレット化工程を担う「友愛園」の皆さん

全国各地で様々な場面に使用されています。



NHKふるさとの食・日本の食
(H16.3.20 東京・代々木)



慶應義塾大学生協での回収の様子



山形日本一の芋煮会 (H15～H20)



新潟中越地震
(H16.11.6 新潟県小千谷市体育館)

回収対象品確認表

- 透明な容器はマークのついているものが回収対象です。次の表で確認して、回収対象品のみ出して下さい。
- 有色（発泡、白、黒、その他の色物、柄物）の容器はマークがついていなくても、回収対象です。ただし、金色・銀色の模様のあるものは対象外となります。

		新識別表示	旧識別表示	PE(ポリエチレン)・PP(ポリプロピレン)・PS(ポリスチレン)				
回収対象品の表示				用途例				
		PE	HDPE					
		PE	LDPE					
	PP	PP						
	PS	PS						
			CTHER					

回収対象外			●卵パックは対象外 	PET(ペット)と(ポリ塩化)PVCの食品トレーは対象外です。
			PET(ペット) PVC(ポリ塩化)	

- ※ 袋やラップ類は回収対象外です。
- ※ 洗って乾して下さい。シール、ラベルやフィルムが付いている時は、完全に取り除き、取れないときは、ハサミで切り取るか、回収対象外として下さい。
- ビンや缶、ペットボトル、紙類も資源です。市町村の回収、スーパーでの資源回収等でリサイクルにご協力下さい。

「しっかり分別」資源回収でゴミ減量を!

本社工場・アメニティセンター

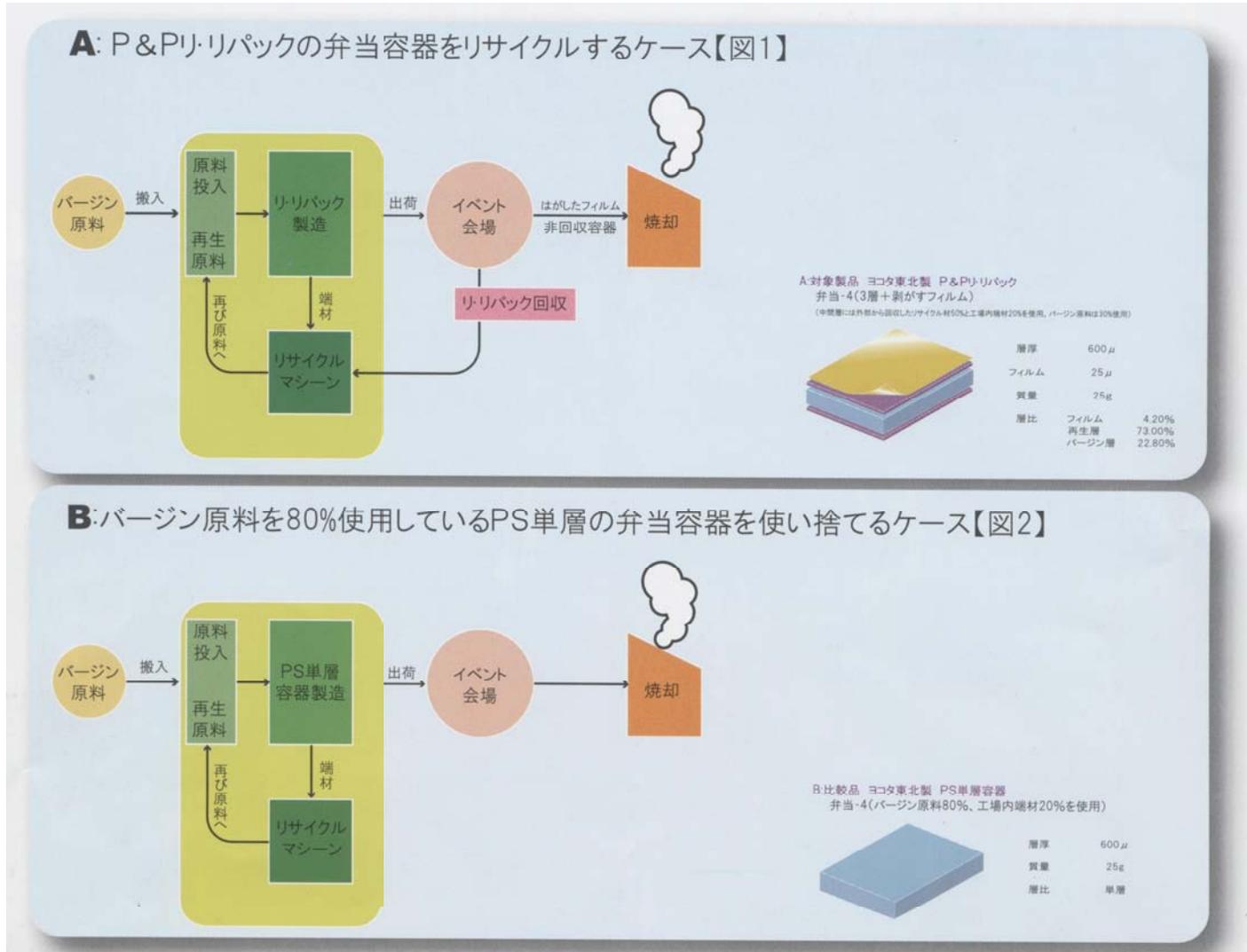


トレーのリサイクルを通して、
環境問題について学ぶ子どもたち

ライフサイクルアセスメント—1

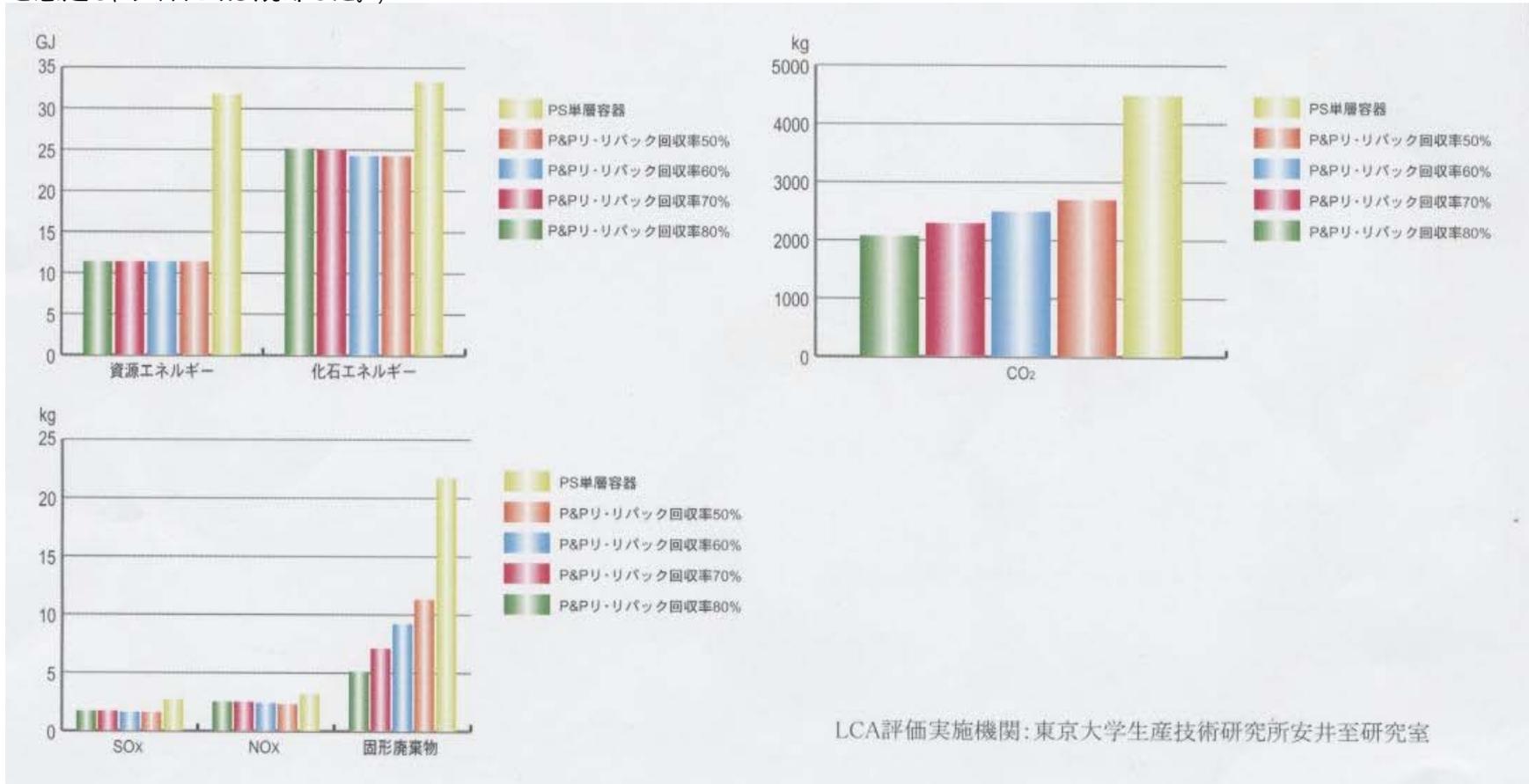
P&P リ・リパックのLCA分析 (LCA評価実施機関: 東京大学生産技術研究所安井至研究室)

環境への負荷の少ない製品を生み出すためには、原材料の調達段階から消費、使用後の廃棄、リサイクル処理までライフサイクルを通じて、環境への影響を考える事が必要になります。P&Pリ・リパックの環境影響を評価するため、次のA.BのシナリオでLCI比較をしました。



ライフサイクルアセスメント—2

A,Bとも同型のヨコタ東北製 弁当ー4 数量28,000枚(700kg)を450km離れたイベント会場で使用することとし、その後リ・リパックはフィルムをはがして工場へと回収し、PS単層容器は焼却することとする。(回収率は、50%、60%、70%、80%の4通りを想定し、フィルムは焼却した。)



LCA評価実施機関: 東京大学生産技術研究所安井至研究室

結果

この場合想定した4通りの回収率について、P & Pリ・リパックはPS単層容器よりすべての評価項目において、環境負荷を低減させることが可能であるといえる。

NPO法人 みどりの家 リサイクルセンター

(三重県四日市市)



社会福祉法人 さつき福社会
リサイクルセンター

「エコラ東海」

(愛知県東海市)



受賞

2006年 気候保護賞 (平成18年)
米国 環境保護局



第4回 朝日企業市民賞 (平成19年)
朝日新聞社



ソーシャル・ビジネス・アワード2008
ソーシャルエコビジネス 環境大臣賞
(平成20年)

